

【倉吉市】 夏休み子ども体験教室について

1 現状・課題

当市では、子どもたちが倉吉特有の歴史民俗、産業、芸術文化など”本物”の資料や周辺の自然環境に直接ふれることができる取り組みを進め、故郷に誇りと愛着を持つ子どもの育成に努めている。

今後はさらに、地域の伝統の継承や地域づくりの担い手として主体的に活躍できる人づくりと、子どもたちが各年代において切れ目なく社会や地域を知り、関わり、つながっていく活動を支援するとともに、自ら考え行動する力を養うことができる機会の提供と充実を図っていく必要がある。

本事業は、倉吉の伝統文化・歴史について学習し、伝統を支える技術を体験することにより、倉吉で受け継がれてきた文化・技術を身近に感じ、倉吉に対する愛着を育む。また、ものづくりの面白さ・奥深さに触れることを目的として事業を行っている。

2 今年度の事業内容

「夏だ！集まれ！ドキドキ土器づくり教室」

倉吉では、遺跡からたくさんの土器が発掘されていることから、土器について学び、土器づくりを実際に体験することを通して、昔の人々の生活がどうだったか想像したり、より深く倉吉の歴史に関心と興味をもってもらおうよう計画した。

内 容	日 時	場 所	対象・定員	講義・指導等
【第1回】 ～土器づくり編～	7月28日（火） 13:30～15:30	社公民館	小学生 15名	・土器づくり講義・指導 文化財課・博物館学芸員
【第2回】 ～土器野焼き& 発掘現場探検編～	8月8日（土） 13:30～16:30	社公民館 中尾遺跡発掘現場	小学生 20名	・土器野焼き 生涯学習課、文化財課学芸員 ・絵本読み聞かせ 図書館司書 ・発掘現場現地解説 文化財課学芸員

【第1回】～土器づくり編～

まず最初に、倉吉博物館所蔵資料の実物の土器を活用しながら、土器とはどういったものか、どのようにつくるのか倉吉市教育委員会文化財課・博物館の学芸員が説明を行った。土器づくりでは、各々保護者や職員に手伝ってもらいながら土器のかたちや装飾を工夫して作っていった。「昔の人はすごいと思った」、「難しかったけど楽しかった、またやってみたい」等感想が聞かれた。



【第2回】～土器野焼き・発掘現場探検編～

前回制作した土器を簡易野焼きセットを使って野焼きに挑戦した。野焼きの待ち時間には、倉吉の歴史に関連づけた絵本の読み聞かせと中尾遺跡第3次発掘調査の発掘現場を見学した。土器をつかってその技術を知るだけでなく、絵本から倉吉の歴史に親しみ、発掘現場から実際に土器がどのように出土するのか、昔のお家やお墓、落とし穴がどのようなものかを現地で学んだ。完成した作品は10月頃に倉吉博物館に展示する予定。



3 成果と課題（今後の展望等）

本事業は、例年子どもたちを対象に倉吉の伝統文化・歴史にちなんだ内容で実施している。今年度は、特に教育委員会の社会教育関係課（生涯学習課、文化財課、図書館、博物館）との連携がうまく取れ、それぞれの強みを活かし役割を分担して行った。単に土器づくりだけでなく、土器と関連させた内容の絵本の読み聞かせや発掘現場探検もプログラムに取り入れたことで学びもさらに深まった。

子どもたちの興味関心も高く参加希望者も多かったが、今年は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、少人数で実施せざるを得ず、参加者も早くに定員に達してしまった。今後としては、今回のノウハウを活用し、各地区公民館の事業として取り入れることで全市的に広げていくことも可能である。これからも倉吉の歴史・文化、自然を活用した創意工夫を凝らした魅力ある事業を展開し、子どもたちが倉吉に誇りと愛着を育み、これからの地域や社会を担っていく人材の育成につなげていきたい。